

地域に根差した食育活動を推進

中央区食生活改善推進員協議会

会長 会長 松本 節子

平成元年4月に東区と南区が合区になり、中央区食生活改善推進協議会として、新たにスタートして、平成とともに30年間、私たちの会も歩んでまいりました。平成17年7月に制定された「食育基本法」において、食生活改善推進員の役割が位置付けられ、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食育推進活動に取り組み、健康づくりのための活動を実践しています。

平成20年からの大阪市食育推進計画も3次計画まで策定され、生きる上での基本である「食」大切さを再認識していただくよう推進してきました。

子育て支援活動としては、これからの時代を担う子どもたちを対象に、夏休みには親子食育教室、小学校では中央区の伝統野菜「玉造黒門越瓜」(たまつくりしろもんしろり)を継承していけるように一緒に実習をしたり、地域の子育て活動では食生活や、おやつの大切さなどを中心に行事を開催しています。今後も健康寿命の延伸と健全な食生活の普及をめざして地域に根差した食育活動を続けてまいります。

